

世界が選ぶニセコ

NISEKO, My Extreme

－ ニセコ観光圏整備計画 －

2019 - 2023



蘭越町・ニセコ町・倶知安町

目次

はじめに	3
1 基本的事項	4
(1) ニセコ観光圏の区域	4
数字で見るニセコ観光圏	7
(2) 滞在促進地区の区域	11
(3) ニセコ観光圏整備事業の実施体制	15
(4) ニセコ観光圏整備計画の目標	16
(5) 計画期間等	17
(6) 住民その他利害関係者の意見反映措置	17
2 観光旅客の来訪及び滞在促進に関する基本方針	18
3 ニセコ観光圏整備事業の概要	22
4 ニセコ観光圏協議会に関する資料	23
5 社会資本整備等その他計画	28
6 参考資料	31

はじめに

本計画は、観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律（平成 23 年 8 月 30 日法律第 105 号）第 5 条に基づいて設置されたニセコ観光圏協議会における協議を経て、同法第 4 条による観光圏整備計画として、蘭越町、ニセコ町、倶知安町が共同して作成したものである。

1 基本的事項

(1) ニセコ観光圏の区域

① ニセコ観光圏の区域

本計画においては、北海道後志総合振興局管内の蘭越町、ニセコ町、倶知安町の3町を区域として、ニセコ観光圏を形成する。



●蘭越町

後志管内の南西部に位置し、周囲はニセコ連峰等の山岳に囲まれた盆地を形成しており、町の中央を通る17度の清流日本一を誇る尻別川が貫流し、日本海に注いでいる。そのため、尻別川はもとより支流のペンケ目国内川やパンケ目国内川などが北海道を代表するフィッシングポイントとなっており、アメマスや大型のトラウト系、また、毎年6月1日に解禁されるヤマメなどを狙って多くの釣り人が訪れている。自然を生かしたキャンプ場やファミリー向けの町営コテージが備えられ、どの年齢層でも楽しめる憩いの場所となっている。近年ではチセヌプリが「奥ニセコ」と称され、自然地形をそのまま活かしたゲレンデが擁するパウダースノーが多く、外国人観光客を魅了している。

また、尻別川がもたらした肥沃な土壌と温暖な気候条件の下で営まれる稲作を中心とした農業が基幹産業で、ブランド米として名高い「らんこし米」を産出する北海道内屈指の米の産地として名声を得ている。

また、ニセコ町と共に国民保養温泉地「ニセコ温泉郷」を形成する温泉郷としても有名で、各地とタイアップした観光振興に取り組んでいる。

●ニセコ町

ニセコ積丹小樽海岸国定公園の中心をなし、羊蹄山、ニセコ連山、昆布岳の山々に囲まれた全国有数のリゾートタウン。エリア最大の収容人数を誇る世界ブランドのヒルトンニセコビレッジをはじめ、自然豊かなテントサイトからリッツカールトンリザーブなどのハイブランドホテルまで多様な宿泊ニーズに対応できる。町の産業の大きな柱を担っているのは観光で、冬は、北海道の中でもトップクラスの積雪と世界有数のパウダースノーと形容される雪質、スケールの大きなゲレンデ、ほぼ半年近いシーズンの長さ等の特徴を誇るスキーをはじめとしたスノースポーツの一大拠点として海外も含め多くの人々が訪れる。近年は、夏の登山やハイキングに加え、テニス、乗馬、釣り、ラフティング、カヌーなど恵まれた自然環境のもとでの多様なアウトドアライフが人気を呼び、通年観光化が大きく進んでいる。さらに、町の観光協会が日本で始めて株式会社化し、ニセコの魅力を一層活かすための観光開発に向けて様々な取り組みが進められている。

基幹産業のもう一つの柱である農業では、酪農地帯として新鮮で豊富な乳製品が人気。また、馬鈴薯をはじめ、米、スイートコーン、カボチャ、メロン、トマトなど多種多様な農産物の宝庫であり、道の駅「ニセコビュープラザ」の農産物直売所では、旬の野菜や果物を買う人々で大変な賑わいを見せている。

●倶知安町

「東洋のサンモリッツ」として知られる後志の中核都市。後志総合振興局をはじめ各官公署・施設も多く後志の中心地でもある。南に羊蹄山、西にニセコアンヌプリを擁しており、羊蹄山の高山植物群生地は天然記念物に指定されている。町の産業は、農業と観光が柱で、農業は肥沃な農地が拓けているなか、馬鈴薯、水稻、ビート、小豆などが主要作物で、なかでも、昼夜の寒暖の差が良質のでんぷん質を作りあげる男爵いも「くっちゃんじゃが」は、生食用男爵いも生産量日本一を誇り、味・品質とも全国的に有名である。

観光では、ニセコ最大規模のグランヒラフスキー場を舞台に世界有数のパウダースノーと形容される雪質のほか、スキー場エリアのレストラン、カフェ、バー、居酒屋、温泉などアフタースキータイムの多彩さが、世界各地からスキーヤー・スノーボーダーが来訪する理由となっている。近年では、ラフティング、登山、沼めぐり、テニス、ゴルフ、自転車など多様なアクティビティメニューから冬だけではない通年型リゾート地としての変化を遂げ、長期滞在に適したコンドミニアムホテルを利用した夏の避暑として、1ヶ月を超えるロングステイを楽しむ国内シニア層やアジア圏のインバウンドが増加している。

また、2019年10月にはニセコ HANAZONO リゾートでG20観光大臣会合が開催されるなど、さらに世界中から注目をされるエリアとなっている。



② ニセコ観光圏の特徴



ニセコ観光圏は、標高 1,308mのニセコアンヌプリを頂点に、ニセコ山系の裾野に広がる歴史・文化・産業の関係性の強い一体的な地区群によって構成される。

当観光圏域の最大の特徴は、まず多くの海外スキー場来訪経験を持つ訪日スキーヤー・スノーボーダーをして「世界有数のパウダースノー」と言わしめるバックカントリーに代表される冬の魅力・訴求力にある。日本海側から吹く風により、適度に湿り気のある雪により浮遊感のあるパウダースノーの恵みが生み出され、このパウダースノーを求め、多くの滑り手が訪れている。

パウダースノーを有するリゾートは他にもあるが、当観光圏域がパウダースノーを、世界中から人々を惹き付ける魅力となしえたのは、パウダースノーを求めてゲレンデ滑走したいという欲求と、安全確保を両立させる仕組みを創出したことにある。これが「ニセコルール」である。ニセコ観光圏を代表するスキー場とその関係者達は、滑り手の「滑る自由」と、事故防止の観点を両立させたスキー場のエリア外滑走ルール「ニセコルール」を創設し、一丸となってその安全確保のための活動を行っているのである。このことは、ニセコ観光圏の最大の魅力である冬の観光を力強く支えており、他の地域には無い魅力の醸成につながっている。

このように、当地域の良質なパウダースノーと、それを求める滑り手の安全確保のための活動は、国内はもとより世界各国から誘客する誘因となり、当地域における外国人の宿泊延数は、平成 29 年度で 653 千人泊で北海道内で札幌市（外国人宿泊延数 3,093 千人泊）に次ぐ規模となっている。平成 15 年度の外国人宿泊延数は約 37 千人泊で、これに対し 29 年度比では実に 17.5 倍となっている。平成 23 年度は東日本大震災の影響で約 183 千人泊と減少したものの、外国人宿泊延べ数は毎年増加し、平成 29 年度は外国人宿泊延数が過去最大となった。

外国人観光客の増加とともに海外からの投資が盛んに行われていることも当地域の特徴のひとつである。特に世界ブランドのホテルやコンドミニアムについては、海外からの投資により建設・取得された物件が多い。これらの物件は、欧米基準のサイズやデザインを持ちつつ、和の様式を取り込ん

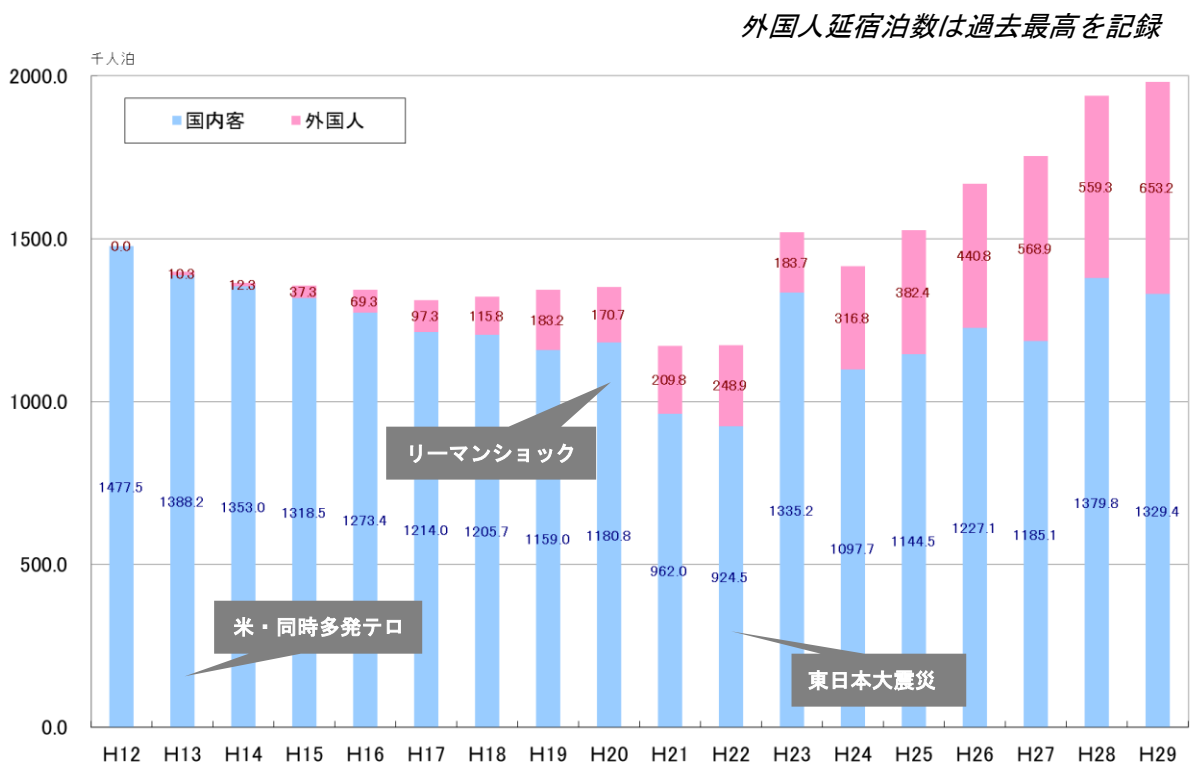
だ物が多く、海外にも類を見ないニセコならではのリゾート様式を生み出しつつある。また、海外リゾートで広く普及しているコンドミニアムが、ニセコのように数多く集積している地域は国内で他に例が無い。結果、倶知安町ニセコひらふ地区が平成21年から10年連続で地価上昇率全国一位となり、関連する事業(例：コンドミニアムの管理サービス、長期滞在者向けサービス)の集積が進むなど、国際化を軸とした観光による地域経済の成長が続いている。また、これら世界ブランドのホテルやペンション群だけでなく、高度成長期以降、わが国を代表する山岳リゾートとして発展してきた本地域には、自然豊かなテントサイト、個性豊かなペンション群が集積しており、近年の環境変化に合わせて、それら既存施設のリノベーションも進み、既存事業の活性化にも繋がっている。

グリーンシーズンは、ホワイトシーズンほどの集客には至っていないものの、ラフティングやフィッシング、サイクリングといったアウトドアアクティビティやゴルフ、テニスなど各種コンテンツが豊富であり、修学旅行生の受入や、国際的なスポーツイベントの開催も増加しつつある。また、多種多様な温泉施設や恵まれた自然を活かした遊び、景観を背景に、コンドミニアムを利用した日本人やアジア圏の長期滞在も増加傾向にあり、グリーンシーズンにおいても、滞在型のリゾートとしての性格を強めつつある。平成25年度のグリーンシーズンの外国人観光客宿泊延数は20千人泊であったが、平成29年度には98千人泊と約5倍となっている。

ニセコ観光圏では、これら様々なコンテンツのブラッシュアップと国内外の垣根を越え、地域の連携による一体感の醸成によって、冬だけではない、四季を通じたニセコブランドを国内外に定着させるために、観光圏を形成している。

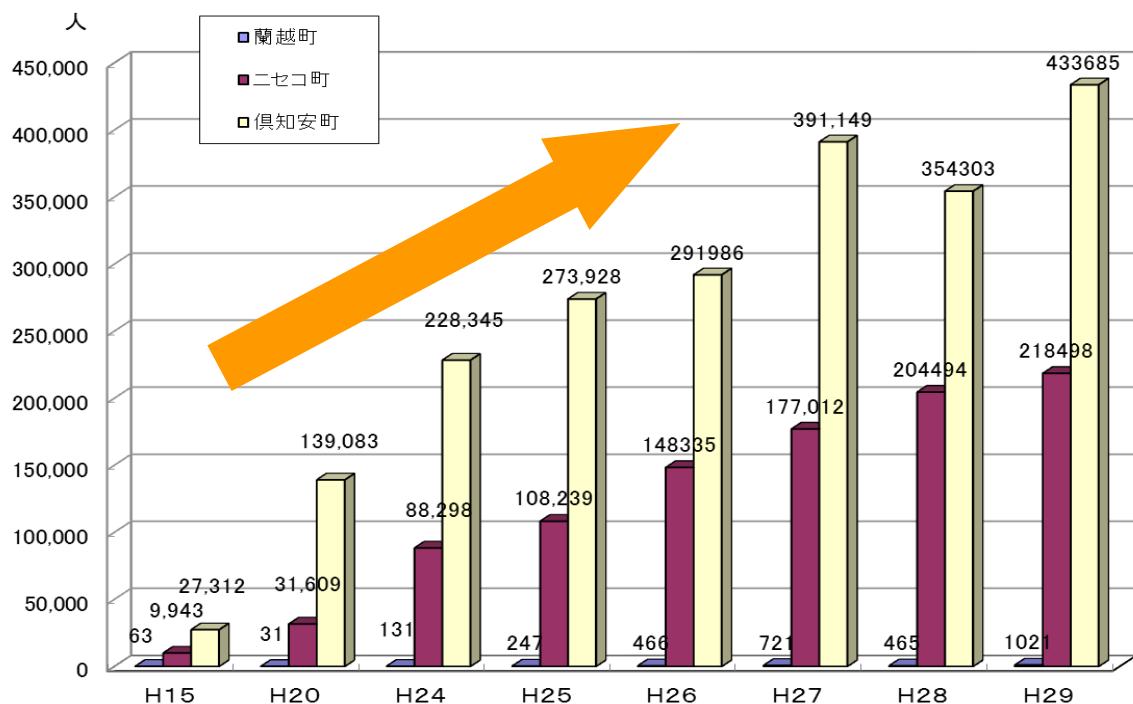
数字で見るニセコ観光圏

I 増え続ける外国人観光客（国内・国外別延宿泊数の推移）



出典：北海道観光入込客数調査結果報告書

Ⅱ 外国人観光客が激増（外国人延宿泊数の比較）



出典：北海道観光入込客数調査結果報告書

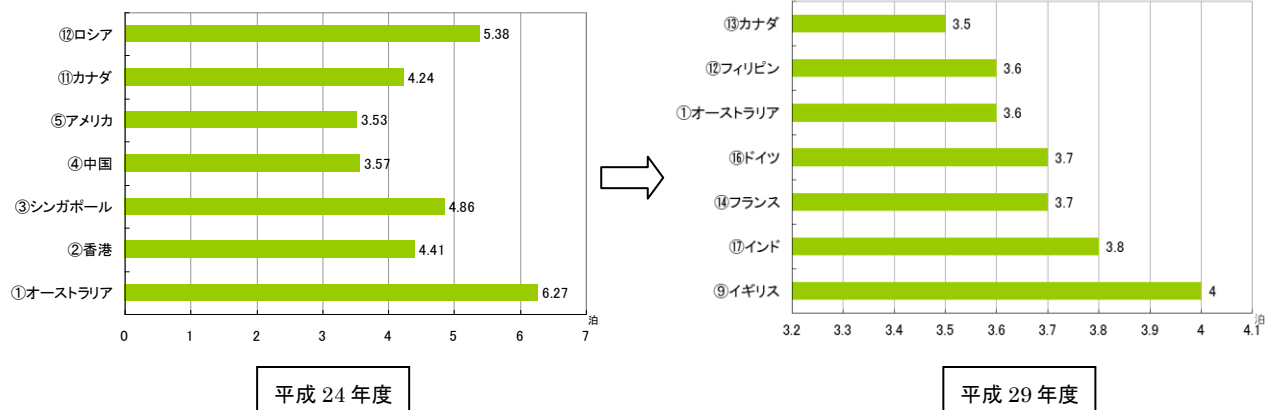
平成29年度と平成15年度の比 圏域全体で17.5倍

平成29年度と平成25年度の比 圏域全体で2.1倍

平成29年度TOP3

- ①オーストラリア 163.8千人泊
- ②香港 65.9千人泊
- ③シンガポール 33.9千人泊

Ⅲ 長期滞在型の文化が流入（長期滞在型施設の多い倶知安町の平均宿泊日数）



※国名の左の丸数字は、外国人延宿泊数の順位

出典：北海道観光入込客数調査結果報告書

③ニセコ観光圏の現状と課題

ア) 地域の強みと弱み（SWOT分析）

S (Strong) 強み

- パウダースノーに代表される自然資源が豊富
- 新千歳空港や札幌・小樽から近いという立地条件の良さ
- 多様な人材の豊富さ
- 外国人観光客の入込数が多い
- 地域個性が多様なことで観光客にとって選択肢が広がっている
- 魅力的な世界中の食材が集積されている
- 大型スーパー、飲食店街があるため観光客が地域の人たちと交流する機会が多い
- 農業が基幹産業であること、日本海が近いことによる豊富な食材、農業をプラスした体験型メニューが豊富
- 様々な泉質、旅館からリゾートまで多様な施設がある温泉
- 豊富なアクティビティあり、長期滞在に寄与している

W (Weakness) 弱み

- 連携した地域資源の管理、連携したガバナンス（共治）が弱い
- マーケティング（誘致受入）の展開が脆弱
- 圏域内の交通体系が貧弱
- 高速交通網の未整備
- 圏域全体では通年集客があるが区域によっては季節によって偏りがある
- 宿泊情報のワンストップサービス
- 外国での知名度は高いが国内での知名度はさほど高くない
- 恒常的な人手不足
- 夏季と冬季の繁閑差による不安定な雇用体系
- MICE のワンストップサービスの受け皿の不足

O (Opportunity) 機会

- 世界市場がニセコに関心を寄せている
- スローライフ、エコ、LOHAS など健康への関心の高まり
- 個人旅行の増加による旅行の多様化とニーズの多様化
- 高速交通網（高速道路・北海道新幹線）の着工決定
- 避暑のためにロングステイする国内富裕層シニアの存在
- マラソン・自転車など外国人のライフスタイル（趣味）が日本人に定着しつつある
- 80年代でスキーを経験したヤングファミリー層でスキーブームが復活しつつある
- 大型施設の投資
- G20 観光大臣会合開催による国際的な認知度の向上、MICE 市場への PR

T (Threat) 脅威

- 他地域との競争の激化
- 国内の人口減少の到来
- 国内全体のスキー人口の減少

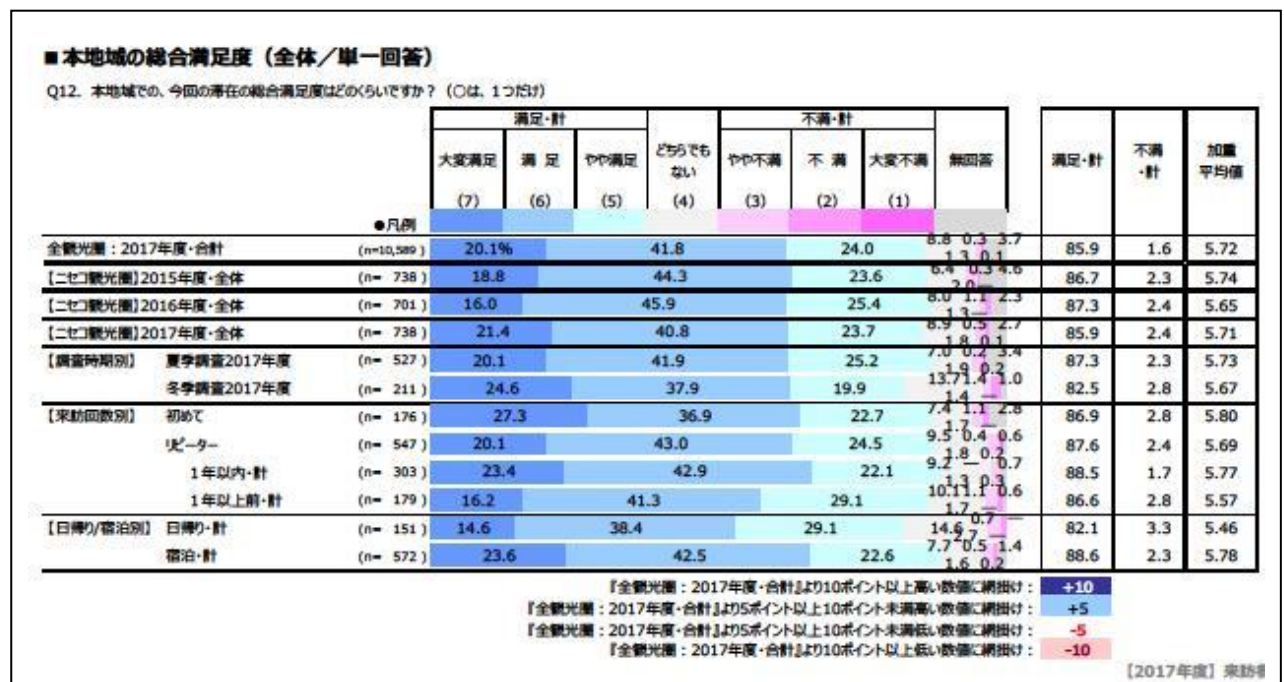
- SNS 等による風評被害等の拡大（誤った情報の拡大）
- 冬期間における飲食や生活雑貨などの価格高騰による物価上昇が生活に支障
- 地震等の災害
- 過度な投資による乱開発や景観への悪影響

イ) 満足度調査結果

ニセコ観光圏では、平成 27 年度から毎年夏と冬に、「顧客満足度調査」を行っている。その調査報告によると、ニセコエリアの観光地としての評価結果は下記のとおりである。

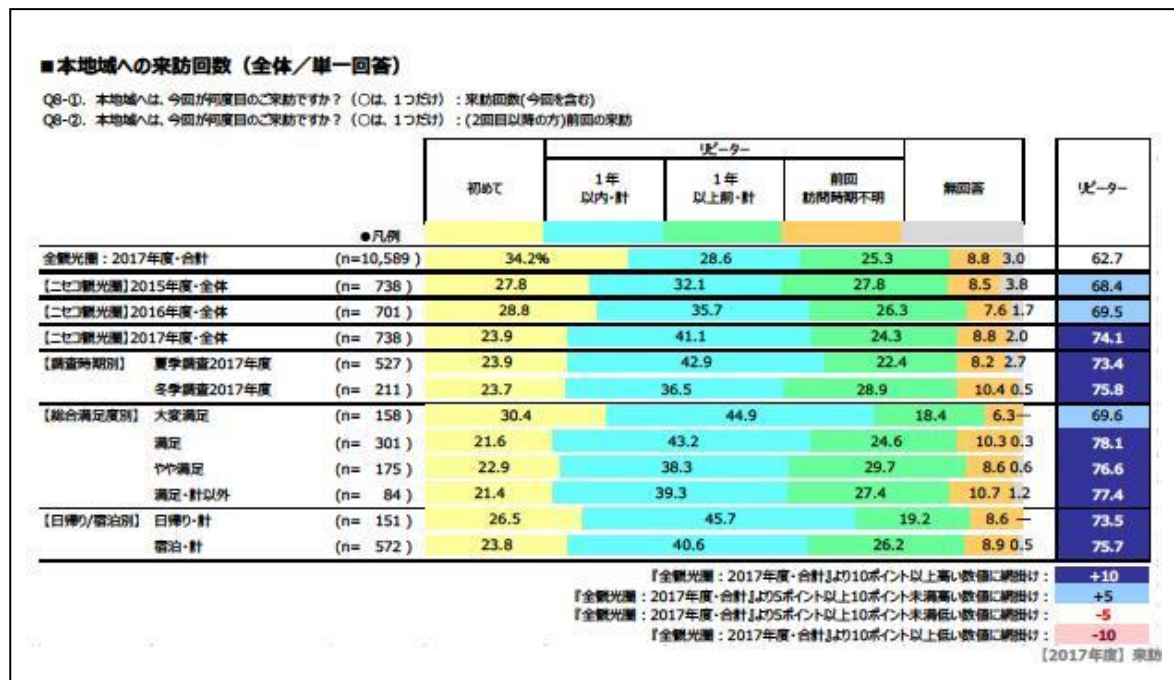
I 総合満足度

2015 年度の総合満足度は 86.7%で 2017 年度は 85.9%と 0.8 ポイント落ちているが、大変満足が 2015 年度は 18.8%、2017 年度は 21.4%と 2.6 ポイント増加している。全観光圏協議会との比較では総合満足度は平均値ではあるが、大変満足では 1.3 ポイント上回っている。



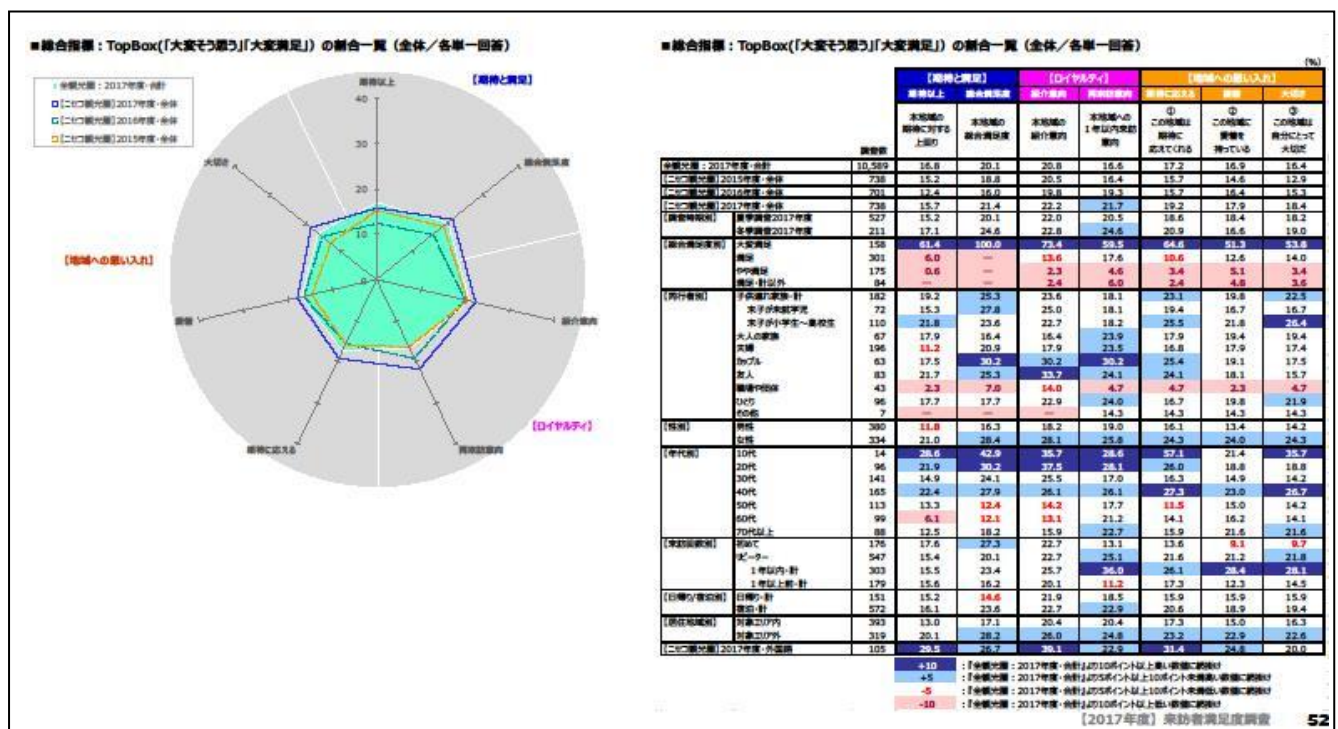
Ⅱ リピーター率

2015年度のリピーター率は68.4%で2017年度は74.1%と5.7ポイント増加している。全観光圏協議会との比較では11.4ポイント上回っている。



Ⅲ 総合指標

期待と満足、ロイヤリティ、地域の思いれすべてにおいて2015年度よりポイントは増加。夏と冬を比較するとほぼ冬のポイントが上回っている。夏における課題解決をすることで、観光客の満足度やリピーター増につながる。



(2) 滞在促進地区の区域

① 区域設定

ニセコ観光圏の滞在促進地区を以下の通り設定する。選定にあたっては、観光宿泊施設の集積があり、滞在促進事業に積極的に取り組む地区としている。圏域全体は広いが、それぞれの地区は温泉郷なども古くから形成されており、近年のコンドミニアム型の宿泊施設と日本伝統の温泉施設とを共に楽しむことができる宿泊滞在型観光地として、国内外からの観光客にとって魅力ある国際リゾート観光地となることを目指す。

●主たる滞在促進地区

ニセコアンヌプリ山頂から放射状に広がる4つのスキー場（ニセコHANAZONOリゾート、ニセコマウンテンリゾートグラン・ヒラフ、ニセコビレッジスキーリゾート、ニセコアンヌプリ国際スキー場）と、隣接するモイワ山のニセコモイワスキーリゾートが、ニセコ観光圏の中心基盤であることから、このニセコアンヌプリとモイワ山の裾野に広がるスキー場エリアを＜主たる滞在促進地区＞とする。

●滞在促進地区

ニセコ観光圏のもうひとつの主たる基盤は、「奥ニセコ」と称される多様な温泉郷が集積しているエリアである。ニセコアンヌプリとイワオヌプリの間に位置している五色温泉郷と、ニセコ連山の山懷に隠れるように点在している湯本温泉と新見温泉は、なかでも、奥ニセコと称されるにふさわしい。また、薬師温泉、昆布温泉、湯の里温泉、昆布川温泉、ゴルフ場やキャンプ場などの滞在環境資源も含め、ニセコ観光圏のもうひとつの顔である秘湯エリアを＜滞在促進地区＞とする。

●交流地区

倶知安町、ニセコ町、蘭越町の市街地とその周辺には、地域住民と来訪観光客の交流を図る様々な施設や資源が存在している。なかでも、三町の市街地は、ニセコ山系と羊蹄山の裾野を流れる尻別川流域に位置し、地形や気象にもとづく自然循環の大きなステージを形成しているだけでなく、鉄道や国道など公共交通網による連携・交流ネットワークの基盤となっている地区である。

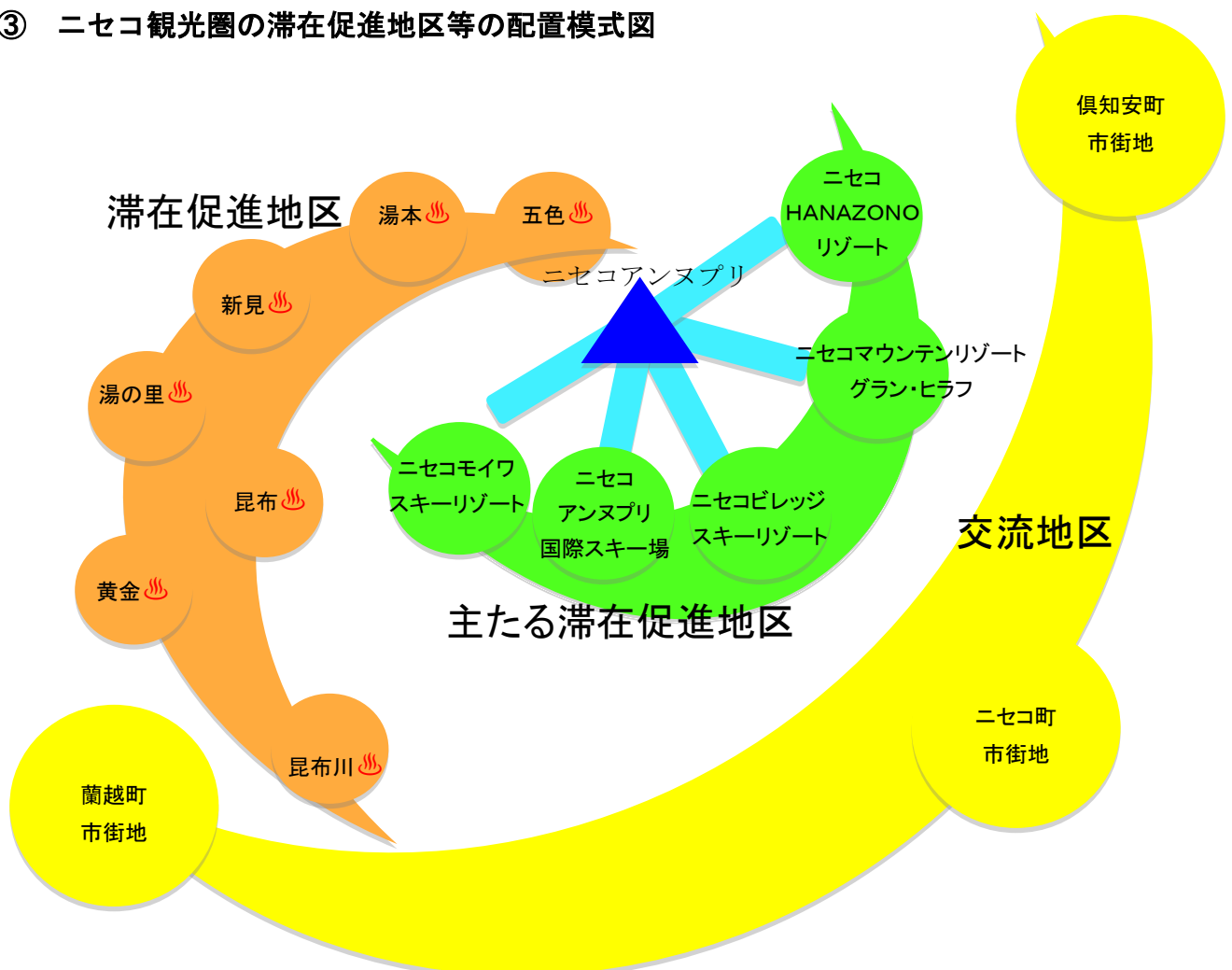
滞在促進地区の区域	区域の詳細	観光圏の区域
●主たる滞在促進地区		
アンヌプリ山麓地区	花園・ひらふ・東山・アンヌプリ・モイワ・昆布温泉・藤山・湯里	倶知安町・ニセコ町・蘭越町
●滞在促進地区		
奥ニセコ・昆布川地区	五色温泉・湯本温泉・新見温泉・黄金温泉・湯の里温泉・昆布温泉・昆布川温泉	蘭越町・ニセコ町
●交流地区		
蘭越町市街地区	蘭越町市街地	蘭越町
ニセコ町市街地	ニセコ町市街地	ニセコ町
倶知安町市街地区	倶知安町市街地・倶知安温泉	倶知安町

② 選定理由

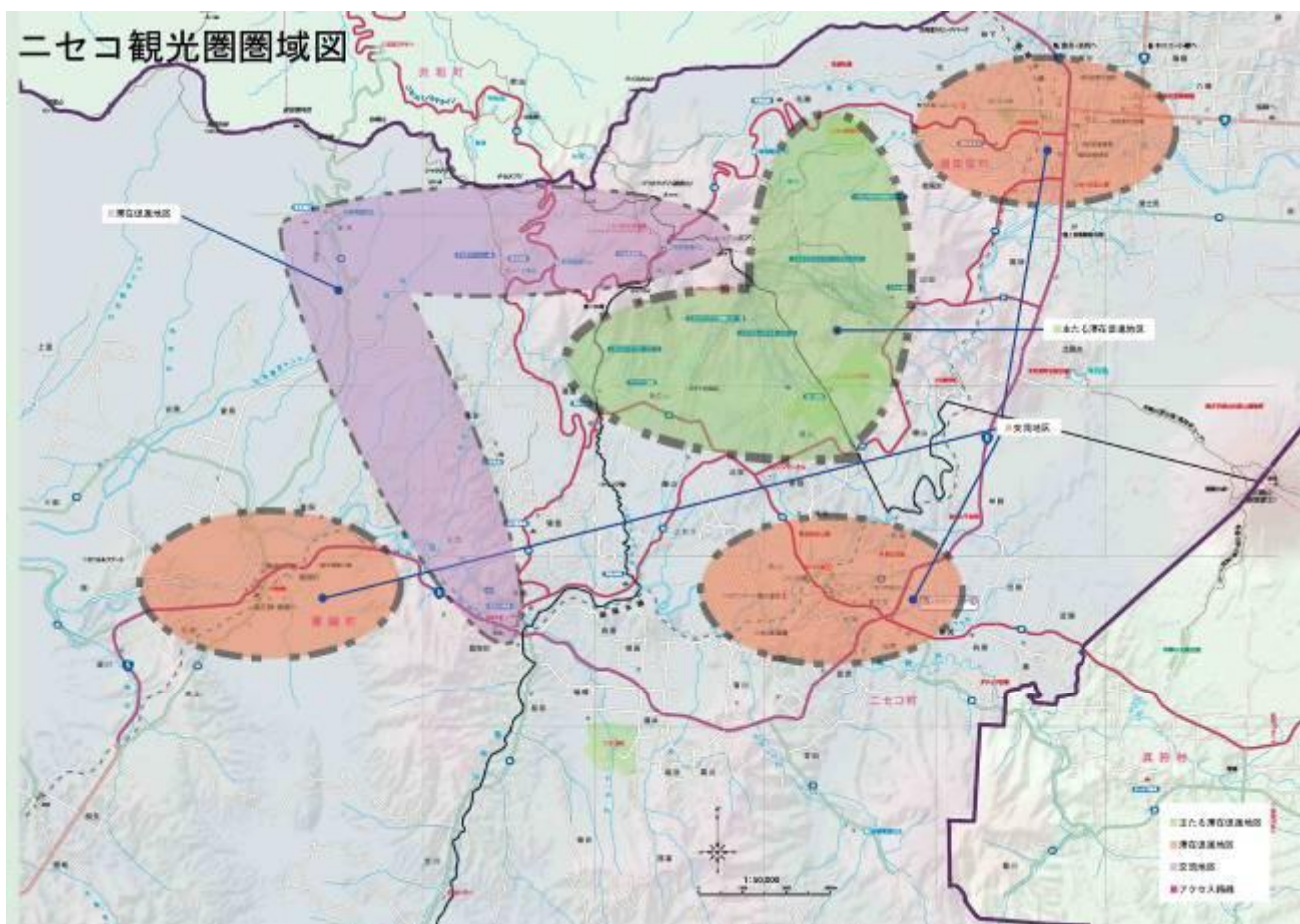
滞在促進地区の区域	宿泊施設数	選 定 の 理 由
【主たる滞在促進地区】 アンヌプリ山麓地区	466	秀峰ニセコアンヌプリの麓に広がる、圏域最大の収容人数を誇る主たる滞在促進地区。「パウダースノーの聖地」として、冬は国内はもとより、多くの外国人スキーヤーやスノーボーダーが集う。世界ブランドのヒルトンニセコビレッジやパークハイアットニセコ Hanazono レジデンスなど多くのコンドミニアムホテルが通年で1週間以上のロングステイ観光客の受け皿となっている。多様なアクティビティメニューを提供するアウトドアスポーツ会社やレストランなどが集積している。一方、当該地区は広大な農産物生産の大地が広がり、北海道らしい景観を楽しめると共に、地元食材を使用した料理、スイーツが豊富に揃い、リピート観光客が多い地区。
【滞在促進地区】 奥ニセコ・昆布川地区	25	<p>奥ニセコ地区は、国民保養温泉地「ニセコ温泉郷」を代表する泉質豊富な泉源を誇る温泉地帯。チセヌプリの南麓に大湯沼があり、周囲約 200 メートルの湯面には「黄色球状硫黄」が浮遊し、学術的にも貴重な資源となっている。また、アンヌプリ、イワオヌプリ等の登山口を擁するほか、大小の湖沼を巡るトレッキングコースの出発点などニセコ山系の玄関口となる地区。五色温泉郷には地元アウトドア会社が指定管理する「五色温泉インフォメーションセンター」を擁し、春から秋にかけて、登山客などにきめ細かな情報提供を行っている。ニセコ観光圏のなかでも一番高い標高に位置しているため、眼下に広がるニセコエリアのパノラマ景観は観光客に感動を与えている。</p> <p>昆布川地区は、国民保養温泉地「ニセコ温泉郷」を形成する地域のひとつ。美人湯温泉として有名な「幽閑閣」を始め、味わい深い温泉郷が多い地区。また、エゾ富士と呼ばれる羊蹄山やニセコ連峰のすばらしい景観を誇るサヒナキャンプ場、アーノルドパーマーが設計を手がけたニセコゴルフコースなどがあり、アウトドアキャンプやゴルフが楽しめる地区。</p>
【交流地区】 倶知安町市街地区	19	国道 5 号・276 号、道々 478 号線が市街地を通過し、JR 倶知安駅などニセコ観光圏の玄関口である。当該地区には、すし店、居酒屋、レストランなどの飲食店が 100 店舗以上あるほか、大型スーパーマーケットが 3 店舗あり、コンドミニアム型宿泊施設が多いアンヌプリ山麓地区に滞在する観光客の買い物など長期滞在者の生活の受け皿として、また地元の人たちがふれあい、交流がうまれる地区でもある。

<p>【交流地区】 ニセコ町市街地区</p>	31	<p>駅前には、ニセコ駅前温泉・綺羅乃湯や、また地域の情報発信基地としてコミュニティFM「ラジオニセコ」を擁する。また、地元新鮮野菜の直売施設がある道の駅ニセコビュープラザは、1年を通して賑わい、来訪者と地元民との密接な交流の場となっている。また、自然エネルギーを活用したニセコ町民センターでは、海外のコンベンションや地元外資系企業の社員研修の場にも活用され、小さいながらもMICEの拠点となりつつある。この他、外国人住民が多い圏域のため、インターナショナルスクールも進出しており、当校が実施するシーズナルスクールは、長期滞在メニューとして注目されている。</p>
<p>【交流地区】 蘭越町市街地区</p>	16	<p>ニセコ観光圏の南麓に位置し、道南方面からの玄関口となる地区。観光圏域を縦断する尻別川が日本海にそそぐ河口部に位置することから、アメマス、ヤマベ、アユのフィッシングポイントを数多く有するほか、長い歴史を持つ温泉郷、ファミリー向けの自然公園キャンプ場、コテージなど静かな雰囲気を醸し出す地区。道内屈指の米どころであり、「らんこし米」はブランド米として有名。</p>

③ ニセコ観光圏の滞在促進地区等の配置模式図



④ 圏域図



(3) ニセコ観光圏整備事業の実施体制

観光圏整備事業については、一般社団法人ニセコプロモーションボードを観光地域づくりプラットフォームに位置づけ、圏域の観光協会、行政が連携して取り組める。

① 観光地域づくりプラットフォームの概要

ア 名称：一般社団法人ニセコプロモーションボード（英名 Niseko Promotion Board）

イ 所在地：北海道虻田郡倶知安町字樺山41番地5

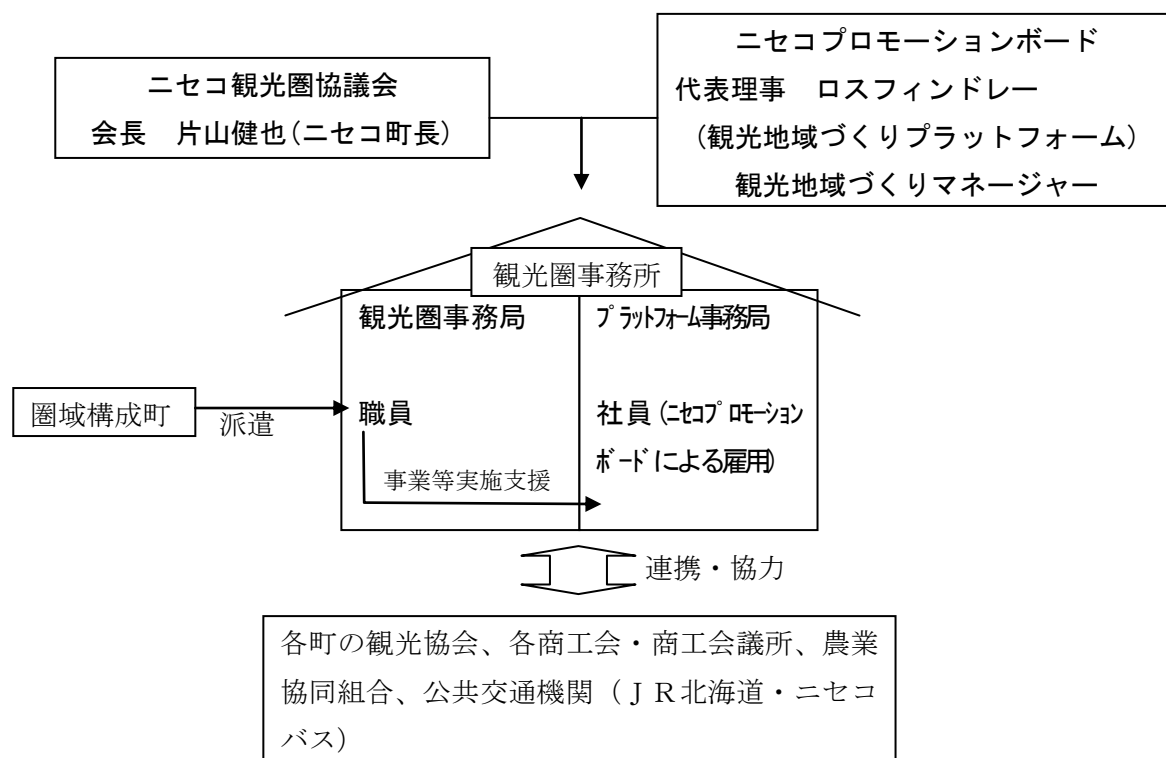
ウ 設立年月日：平成19年9月7日（平成21年6月9日変更登記：名称改正など）

エ 正会員数：199件（平成30年度5月現在）

オ 目的及び事業内容

- A. 国内外における観光プロモーションに関する各種調査・研究と活動の実施
- B. 観光地区プラン・インフラ整備に関わる各種調査・研究と対外要請活動の実施
- C. 各種団体に対する支援と連携を促進するためのコーディネーション活動の実施
- D. 地域産業に関する商品の企画・立案並びにこれに付随する行為
- E. 前各号に掲げる事業に附帯する又は関連する事業

② 実施体制図



(4) ニセコ観光圏整備計画の目標

① 目標設定のねらい

後述する「将来像」をふまえ、その達成に繋がる項目として、以下の目標値を設定する。

I 宿泊者数(人泊数)および滞在日数

当観光圏の基本的なパフォーマンスを示すものとして、宿泊者数(人泊)と平均滞在日数を国内外別に設定する。

II 観光客の満足度およびロイヤルティ

持続的な観光振興を実現していくため、来訪した観光客が本地域の滞在に満足し、また、肯定的な意識を有しているかを満足度(CS)、ロイヤルティ(紹介意向、再来訪意向)にて計測する。

III 観光消費額

観光振興が、地域の経済振興に繋がっているかどうかを図る指標として、観光消費額を設定する。

IV 住民満足度

地域住民が、観光による地域振興に肯定的な意識を有しているかどうかを図る指標として、住民満足度を設定する。

V 環境保全に取り組む事業者数

持続的な観光振興を実現していくため、環境の維持保全に取り組む事業者数を指標として設定する。

なお、国際的なリゾートに相応しい空間、景観、インフラについての指標は、観光客および住民の満足度により取得する。

② 数値目標

i 宿泊者数(人泊数)および滞在日数

- ・ 宿泊者延数を計画最終年度までに国内客を 1,418 千人泊(現状比 5%増)、外国人客を 663 千人泊(現状比 10%増)を達成する。
- ・ 全宿泊者の平均宿泊日数を計画最終年度までに 2.0 泊、外国人客を 4.0 泊を達成する。

ii 観光客の満足度およびロイヤルティ

- ・ 観光客の総合満足度について、「大変そう思う」率の 20%を達成する。
- ・ 観光客の再来訪意向および紹介意向の「大変そう思う」共に 25%を達成する。

iii 観光消費額

- ・ 観光消費単価を計画最終年度まで、夏季 54 千円(現状比 10%増)、冬季 79 千円(現状比 10%)を達成する。

iv 住民満足度

- ・ 観光に対する住民意識(観光の地域コミュニティに与える影響)を計測し、肯定的な意識を持つ人 6 割以上を維持する。

v 環境保全に取り組む事業者数

- ・ 環境に関するサステイナブル・ポリシーを持つ事業者を過半数(50%以上)とする(現状値は無いため、計測後、目標値変更の可能性あり)。

(5) 計画期間等

① 計画期間

計画期間は、平成 31(2019)年度から平成 35(2023)年度までとする。

② 計画の見直し・変更について

計画は、年度ごとに協議会において評価し、継続的な改善を図る。

なお、整備計画に見直し・変更があった場合は、法第 4 条第 9 項の規定に基づき、協議会の協議・承認を得て、北海道運輸局を通じて国土交通大臣及び北海道知事並びに事業実施者に送付するとともに、速やかに公表することとする。

(6) 住民その他利害関係者の意見反映措置

ニセコ観光圏協議会の構成員に各区域の町内会長を住民代表として加えると共に、3 圏域の農業・商工業・観光業に携わる事業者目線での事業評価を行ない事業実施・事業評価に対して意見反映を行う。

2 観光旅客の来訪及び滞在促進に関する基本方針

(1) 日本の顔となるニセコ観光圏の価値

アジア初めての国際リゾート。観光カリスマであり、ニセコの国際化のきっかけをつくった1人であるロス・フィンドレー氏は、ニセコをそう表現する。

わが国の観光リゾート地は、明治期の一時を除けば、豊富な国内需要、国民の余暇需要に応える事で発展してきた。リゾートとしてのニセコの歴史もまた、例外ではない。しかしながら、高度成長期、また、バブル景気期に伸長した観光需要が、90年代後半から縮小へと転ずる中、ニセコは、オーストラリアを主体とする訪日需要によって、新たな発展ステージへと転化する。いまや、冬期間の過半は訪日旅行者によって占められ、多様な国々から多くの投資が行われ、リゾートを軸とした新たな経済圏が創造されるなど観光立国の一つの姿を提示するに至っている。

こうした海外需要の呼び込みのきっかけは、ロス・フィンドレー氏を始めたとした海外スキーヤーによって、ニセコのパウダースノーが“再発見”された事にある。もともと、北海道内他地域のスキー場も軽く乾いた雪質で道外のスキー場と比べてアドバンテージは高いが、ニセコのパウダーは特別と言われる。科学的に分析された雪質としてその特性について語られることもあるが、重要なことは、ニセコにおいて、このパウダーを存分に楽しめる環境が整備されたことにある。いくら、降雪がパウダーであっても、管理されたゲレンデだけでは、楽しむことは出来ない。しかしながら、ゲレンデ外は、安全を担保することは出来ない。ニセコでは、こうしたコンフリクトを、「ニセコルール」にて解消していく道を選択した。「ニセコルール」は、「自由に滑りたい」という共通の想いを実現するため、人と自然、ホストとゲストの関係に折り合いを付けて、コミュニケーションを通じて互いに尊重しあいながら、また協力し合いながら、生活空間至近の固有の植生を彩る白い森の世界を飛翔する自由を楽しむのである。ラフティングやコンドミニアムなど、こうした「ニセコを楽しみたい」という欲求と、安全管理や諸規制、諸制度との折り合いをつける事で創造された活動は、ニセコには数多く存在している。これは、特別の空間ではなく、あらゆる意味で普通の空間である。しかし、この普通の世界は、ここニセコにしかない、特別の自然空間である。これが、ニセコのブランドの出発点である。

そして、こうした新しい活動が、チャレンジ志向を持った若者やよそ者をニセコに集めることとなり、それが、さらなる活動を創造し、世界から観光客を惹き付けるという循環が生じさせている。こうした循環こそが、他の観光地やリゾート地とニセコの差別要素であり、魅力の源泉であると考えられる。

ただ、多様な国々からの来訪者が増え、経済規模が拡大する中で、各所の問題も生じ始めている。地域づくりの領域ではエリアマネジメント団体の創設など、新たなガバナンス手法が立ち上がりつつあるが、観光領域においても、より戦略的、組織的に「自然の活用と保全」「挑戦と安全」など、来訪者の欲求と、持続性や安全性の確保を両立することが必要である。こうした攻守のバランスを高次に行っていくことで、観光以外の領域にも活力を派生させていくことを目指していく。

(2) ニセコ観光圏の将来像

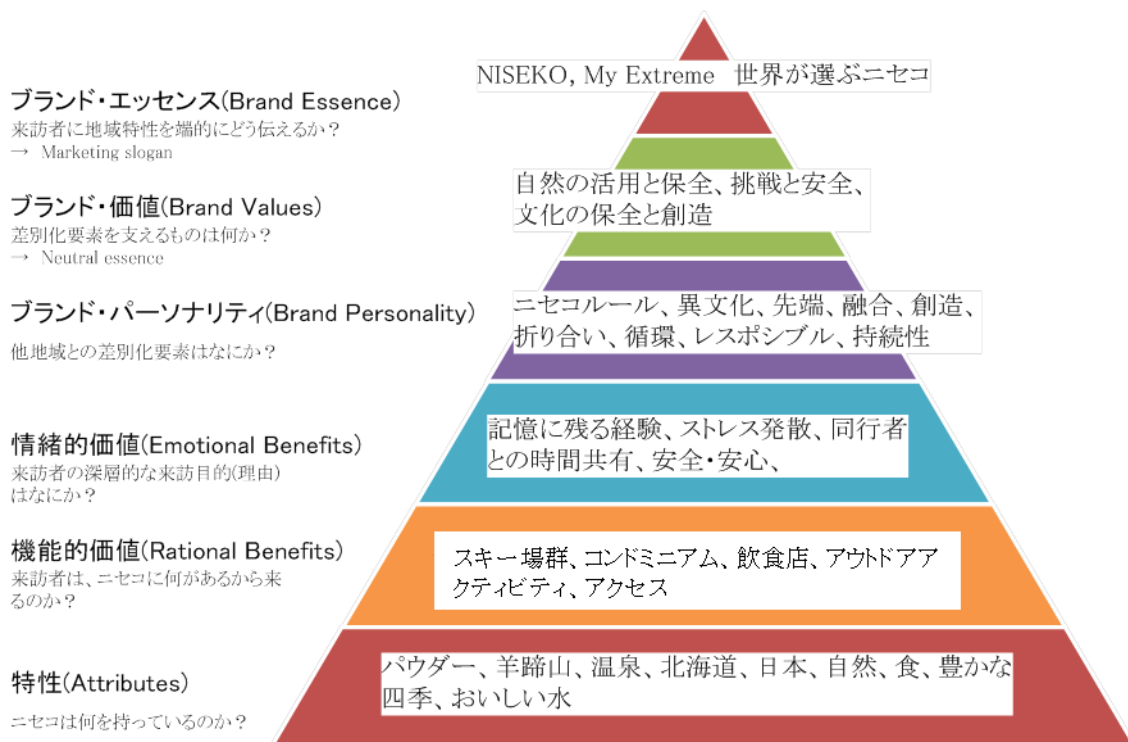
これをふまえ、本地域の将来像を以下のように設定する。

1. 多様な国々から、バカンス需要をもった人々が来訪している。
2. 観光やその関連領域で新しい事業活動が、継続的に創造され、地域での経済循環につながっている。
3. 多くの地域住民が国際的な観光地域づくりを肯定的に捉え、住み続けられる。
4. 国際的なリゾートに相応しい空間、景観、インフラの整備が進んでいる。
5. 環境負荷の低減や、自然環境の保全と活用が明示的に進められている。

(3) ニセコ観光圏の基本方針

将来像の達成に向け、国内外の観光客を惹き付けるニセコブランドを構成する要素を、観光地ブランド構築のフレームワーク手法の1つである「6階層ピラミッド(出典：UNWTO ハンドブック)」を用いて、ニセコエリアのブランド構造を検討すると、以下のように整理できる。

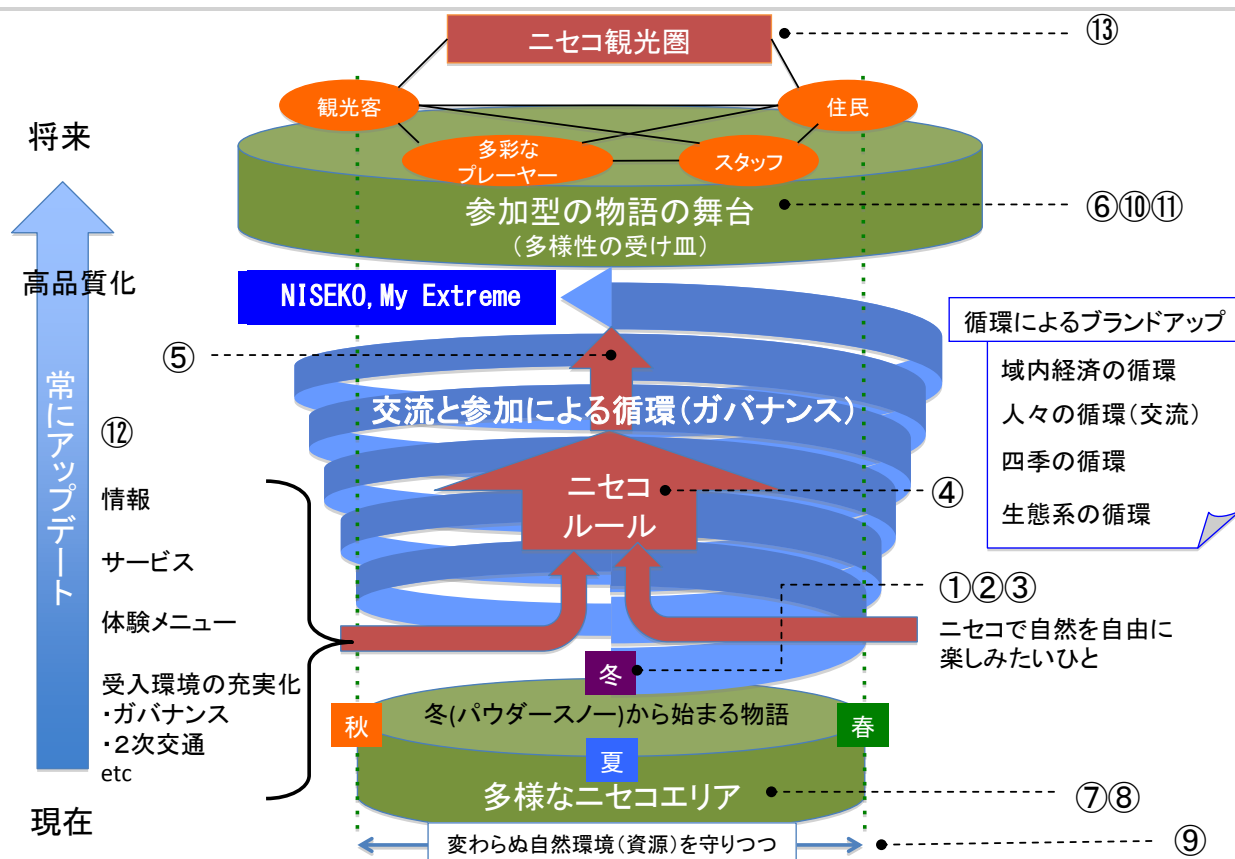
この整理で見えるように、ニセコのリゾートとしての根源的な魅力はパウダースノーをはじめとした豊かな自然資源であり、その資源を活用するに整備された各種の宿泊施設、レジャーアクティビティである。ただ、ニセコに多様な国々から人々が集まるようになっているのは、ニセコルールに象徴される異文化との交流と折り合いが生み出す、独特のリゾート文化である。こうした折り合いを自然環境や経済分野にまで広げ“交流と参加による循環”を実現していくことで、自律的なリゾートとしていくことで、持続的な成長を実現していく。



(4) ニセコ観光圏の基本戦略

1) 基本方針を実現するための戦略

ニセコ観光圏への来訪と滞在を促進するための基本方針は、下図に示すように、内部で共有すべき「基本理念：交流と参加による循環」と、対外的な地域イメージの集約的な表現となる「NISEKO, My Extreme 世界が選ぶニセコ」によって形成されるスパイラルとして示される。これが、整備計画における戦略を導く。



- 戦略の根拠
- ① ニセコのパウダースノーは、人の生活空間と近い自然生態系で楽しめる、世界的にも希有な存在
 - ② パウダースノーを自由に滑れる事は、ニセコにおける人と自然のあるべき姿を示している
 - ③ パウダースノーから始まる「物語」が、環境整備のアップデートによるブランドを育てる
 - ④ ニセコルールは、自然生態系とパウダー、パウダーと人、人と人を繋ぐ「ニセコ物語」を紡ぐ
 - ⑤ ニセコルールの持続可能な仕組みを創出する事で、ガバナンスをブランドへ
 - ⑥ ニセコエリアの事業者の協力によって、ガバナンスとしてのエリアマネジメントが可能になる
 - ⑦ 自然など地域資源の持続的な保全と活用に向けて、土地利用の適正な管理運営の空白をなくす
 - ⑧ ニセコ固有の自然生態系が、ガバナンスとブランドの核となっている
 - ⑨ ガバナンスによる地域資源の管理とブランドの強化を、ニセコ将来構想として明示する
 - ⑩ 民間の起業マインドと行政の歯車が噛み合って、ニセコのスキー場の歴史が創られてきた
 - ⑪ ニセコの自然を愛した人びとの共通の想い、多様なアプローチが、ニセコを育ててきた
 - ⑫ 受入環境やサービス等のアップデートが来訪者の期待に応えることで、ブランド力は向上する
 - ⑬ ニセコエリアを一体的に融合し表現していく主体としての、広域的取組組織が不可欠

2) ニセコ観光圏の戦略を構成する、ニセコ観光圏整備計画のシナリオ

ニセコ観光圏の基本方針の実現を図るためのシナリオに沿って、施策の体系化を図り、整備実施計画との整合性を図り、事業を推進していく。そのシナリオにもとづく施策の体系は次の通りとする。

将来像	目標値	事業名
多様な国々から、バカンス需要を持った人々が来訪している	宿泊延数：国内 1,418 千人泊、海外 663 千人泊。平均泊数：国内 2.0 泊、海外 4.0 泊。	来訪滞在旅行者の特性に見合った戦略的マーケティング
		ICT を活用した情報共有の構築
		「ニセコルール」の充実化に向けた新たな制度設計
		経済循環および観光振興意識の調査と検証
観光やその関連領域で新しい事業活動が、継続的に創造され、地域での経済循環に繋がっている	観光消費額、夏期 54 千円、冬期 73 千円。 観光客満足度「大変満足：20%」、紹介意向・再来訪意向「大変そう思う：25%」	来訪者意識調査の充実と分析結果の地域還元
		総合案内窓口（i センター）の設置とネットワーキング化、多言語案内の強化
		受け入れ環境の品質向上
		地区ごとの農商工連携による「食」テーマの滞在プログラムの開発
		「温泉」を活用した滞在プログラムの開発
多くの地域住民が国際的な観光地域づくりを肯定的に捉えている	観光に、肯定的な意識を持つ人を 70% とする	「おもてなし」草の根運動による住民意識の活性化と人材発掘
		観光産業に携わる（マーケティング・ガイド・サービスなど）リーダー的存在の人材育成
国際的なリゾートに相応しい空間、景観、インフラの整備が進み、持続的活用に向けたガバナンスが充実している	（観光客満足、ロイヤルティで捕捉）	「ニセコグランドデザイン」の策定支援
		地域資源の保全と持続的活用に向けた、国際的リゾート空間勉強会の実施
		ニセコエリア循環型公共交通網の拡充整備
		ニセコエリアの Wi-Fi 通信網整備と国際決済システム構築
環境負荷の低減や、自然環境の保全と活用が明示的に進められている	環境に関するサステイナブル・ポリシーを持つ事業者を過半数とする。	環境維持保全に向けた啓発事業の実施

3 ニセコ観光圏整備事業の概要

プレイヤーとなる民間事業者の取り組みを支援し、民間では対応が難しい領域を補完していく仕組みを構築していくことで、NISEKO, My Extreme を実現していく。

(1) 基礎的なデータの収集と公開

宿泊客数やCS、消費額といった観光地マネジメントにおいて基礎的なデータを着実に収集し、民間事業者を含む各主体へ提供し、合理的な意志決定を支援する。

- 受け入れ環境の品質向上（来訪者意識調査の実施等）
- 経済循環及び観光振興意識の調査と検証

(2) 協働事業を通じたノウハウ蓄積

地域協働で行うことが求められる事業の実施を通じて、国際的リゾートに向けた地域づくりノウハウを高めると共に、協働体制を強化する。

- 認定観光圏案内所の設置
- 観光滞在プログラムの充実
- 情報媒体の整理統合・体系化と提供体制の充実化
- 滞在交流地区・交流地区の滞在・回遊促進（温泉コンテンツの活用・市街地交流の促進）
- 国内外でのプロモーション活動

(3) 空間と環境のあり方についての継続的協議

国際的リゾートにふさわしい空間、環境のあり方について、継続的な協議を行い、中長期的な地域づくりへとつなげていく。

- 「ニセコルール」の充実化に向けた新たな制度設計
- 公共交通網の整備拡充
- 地域資源・環境の保全と持続的活用に向けた検討
- 地域の観光振興を担う組織の設立の検討
- 表示看板等のルール化の検討

4 ニセコ観光圏協議会に関する資料

(1) ニセコ観光圏協議会構成員等

役職名	所 属 名	職 名	氏 名	
	蘭 越 町	町 長	金 秀 行	
	ニ セ コ 町	町 長	片 山 健 也	
	倶 知 安 町	町 長	文 字 一 志	
	ようてい農業協同組合 蘭越支所	支所長	藤 井 覚	
	ようてい農業協同組合 ニセコ支所	支所長	古 屋 薫	
	ようてい農業協同組合 倶知安支所	支所長	小野寺 博 喜	
	蘭越町商工会	会 長	佐 藤 義 久	
	ニセコ町商工会	会 長	牧 野 雅 之	
	倶知安商工会議所	会 頭	阿 部 和 則	
	蘭越町観光協会	会 長	松 浦 京 子	
	(株) ニセコリゾート観光協会	代表取締役	下 田 伸 一	
	(一社) 倶知安観光協会	会 長	吉 田 聡	
	(一社) ニセコ プロモーションボード	代表	ロス・フィンドレー	
	北海道旅客鉄道株式会社	鉄道事業本部 営業部長	林 雅 子	
	北海道旅客鉄道株式会社	倶知安駅長	横 関 章	
	ニセコバス(株)	代表取締役社長	高 林 永 次	
	ニセコ東山ペンション村		清 保 則	
	倶知安町内会連合会	会 長	佐 藤 裕	

顧 問	後志総合振興局	局 長	勝 木 正 嗣	
-----	---------	-----	---------	--

事務局	ニセコ町商工観光課			
-----	-----------	--	--	--

(2) ニセコ観光圏協議会規約

平成25年12月27日制定

第1章 総則

(名称)

第1条 この協議会は、ニセコ観光圏協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(事務所)

第2条 協議会は、事務所を北海道虻田郡ニセコ町（ニセコ町役場庁舎内）に置く。

(目的)

第3条 協議会は、観光地相互間の連携によって観光圏を形成し、その観光の魅力の増進により国際競争力を高め、内外からの観光旅客の来訪及び滞在を促進することを目的とする。

(業務)

第4条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 観光圏整備計画の策定に関する業務
- (2) 観光圏整備実施計画に関する業務
- (3) 観光圏整備事業に関する業務
- (4) その他協議会が定める業務

第2章 構成員等

(協議会の構成員)

第5条 協議会の構成員は、別表1に掲げる者をもって組織する。

2 前項の構成員のほかに、協議会が必要と認める者を構成員とすることができる。

(届出)

第6条 構成員は、その氏名及び住所（構成員が団体の場合については、その名称、所在地及び代表者の氏名）に変更があったときは、遅滞なく協議会にその旨を届けなければならない。

(顧問)

第7条 協議会は、顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、協議会の運営に対して、助言を行う。
- 3 顧問の任期は2年とし、再任を妨げない。

第3章 運営等

(協議会の運営)

第8条 協議会の役員として、会長1名、副会長2名、及び監事2名を置く。

- 2 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。なお、補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 会長、副会長は、構成員である町（以下「関係町」という。）の長の中から選出する。
- 4 会長は、協議会を代表し会務を総括する。
- 5 副会長は、会長を補佐する。

- 6 会長に事故がある場合は、副会長の中からあらかじめ会長が指定するものが、その職務を代理する。
- 7 監事は、総会において構成員の中から選出する。
- 8 監事は、協議会の会務及び会計を監査する。
- 9 協議会は、公開とする。ただし、会長が必要と認める場合は、非公開とすることができる。

(幹事会)

第9条 協議会に、業務その他協議会の運営に当たって必要な事項を処理するため、幹事会を置く。

- 2 幹事会の幹事は、構成町の各副町長を充てるほか、会長が構成員のうちから指名する。
- 3 幹事会の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が総会に諮って定める。

(事務局)

第10条 協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。

- 2 事務局の事務及び運営に関し必要な事項は、関係町の長の協議を経て、会長が別に定める。

第4章 総会

(総会の種別)

第11条 協議会の総会は、通常総会及び臨時総会とする。

- 2 総会の招集は会長が行い、会長が議長となる。
- 3 通常総会は、年1回開催する。
- 4 臨時総会は、会長が必要と認めたときに開催する。
- 5 総会は、次の事項について審議、議決する。
 - (1) 規約の改廃に関する事項
 - (2) 事業計画及び事業報告に関する事項
 - (3) 予算及び決算に関する事項
 - (4) 顧問の推挙に関する事項
 - (5) その他、協議会の運営に関する重要な事項

(総会の議決方法等)

第12条 総会は、構成員現在数の過半数の出席がなければ開くことができない。

- 2 構成員は、総会において、各1個の議決権を有する。
- 3 構成員は、書面又は代理人によって議決権を行使することができる。
- 4 構成員又は代理人は、代理権を証する委任状を会長に提出しなければならない。
- 5 議決方法は、出席者の多数決とする。

(協議結果の取扱い)

第13条 協議会において協議が調った事項については、協議会の構成員はその協議の結果を尊重しなければならない。

(議事録)

第14条 総会の議事については、議事録を作成しなければならない。

- 2 議事録は、少なくとも次の各号に掲げる事項を記載する。
 - (1) 日時及び場所
 - (2) 構成員の現在数、当該総会に出席した委員数、委任状の枚数及び当該総会 に出
席した構成員の氏名
 - (3) 議案
 - (4) 議事の経過の概要及びその結果
 - (5) 前4号に定めるもののほか、議長が必要と認めた事項
- 3 議事録は、議長及び議長が指名した2名の構成員が署名しなければならない。
- 4 議事録は、第2条に規定する事務所に備え付けておかなければならない。

第5章 事業計画

(事業計画)

- 第15条 協議会の業務に関する事業計画は、会長が作成し、年度開始後2ヶ月以内に総会の議決を得なければならない。
- 2 前項の事業計画を変更しようとする場合についても、同様とする。

第6章 会計

(事業年度)

- 第16条 協議会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(経費の支弁の方法等)

- 第17条 協議会の経費は、次に掲げる収入をもって充てる。
- (1) 関係町の負担金
 - (2) その他の収入
- 2 前項第1号に規定する負担金のうち、協議会の運営費に係る額の負担割合は、構成町により別に定める。
 - 3 協議会の収入、経費等の財務に関し、別途会計処理規程で定める。

(収支予算)

- 第18条 協議会の収支予算は、事務局が作成し、年度開始後2ヶ月以内に総会の議決を得なければならない。
- 2 前項の議決までの間の運営費の収入及び支出を要する事項は、会長が専決し、前項の総会に報告しなければならない。

第7章 事業報告等

(事業報告及び監査)

- 第19条 会長は、毎事業年度終了後、協議会の業務に関する事業報告書を作成し、監事の監査を得て、その事業報告書を総会に提出しなければならない。

第8章 雑則

(委任)

- 第20条 この規約に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、会長が総会に諮って定める。

(細則)

第21条 協議会の事務の運営上必要な細則は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、平成25年12月27日から施行する。
- 2 平成25年度については、第15条及び第18条中「年度開始後2ヶ月以内に」とあるのは「第1回の」と、第16条中「毎年4月1日」とあるのは「第1回の協議会の総会」と読み替えるものとする。

5 その他計画について

(1) 観光施設再整備等<ニセコ市街地地区>

1-1

事業名	観光施設機能向上等の改善
実施主体	ニセコ町
実施期間	平成 29 年度 ～ 平成 35 年度
事業概要	<p>活気と賑わいをもたらす各種交流の促進と地域コミュニティの活性化に向け、既存ストックの再生を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅ニセコビュープラザ（町内外の観光・交流の拠点） ・ニセコ駅温泉綺羅乃湯（町内外の観光・交流の拠点） ・有島記念館（町内外の文化・交流の拠点）
事業費	225 百万円（過疎債）

(2) 国営農地整備再編事業<ニセコ地区>

2-1

事業名	国営農用地再編整備事業
実施主体	北海道開発局
実施期間	平成 26 年度 ～ 平成 35 年度
事業概要	農地の土地利用を計画的に再編することにより、農業の振興を基幹とした総合的な地域の活性化を図る。
事業費	17,500 百万円（国営事業）

(3) 道道蘭越ニセコ倶知安線無電柱化事業<アンヌプリ山麓地区>

3-1

事業名	道道蘭越ニセコ倶知安線無電柱化事業
実施主体	北海道
実施期間	平成 31 年度
事業概要	ニセコひらふ地区を通る道道蘭越ニセコ倶知安線の無電柱化により、地域景観の良化や防災機能強化を図る。
事業費	1,000 百万円（概算）（社会資本整備事業）

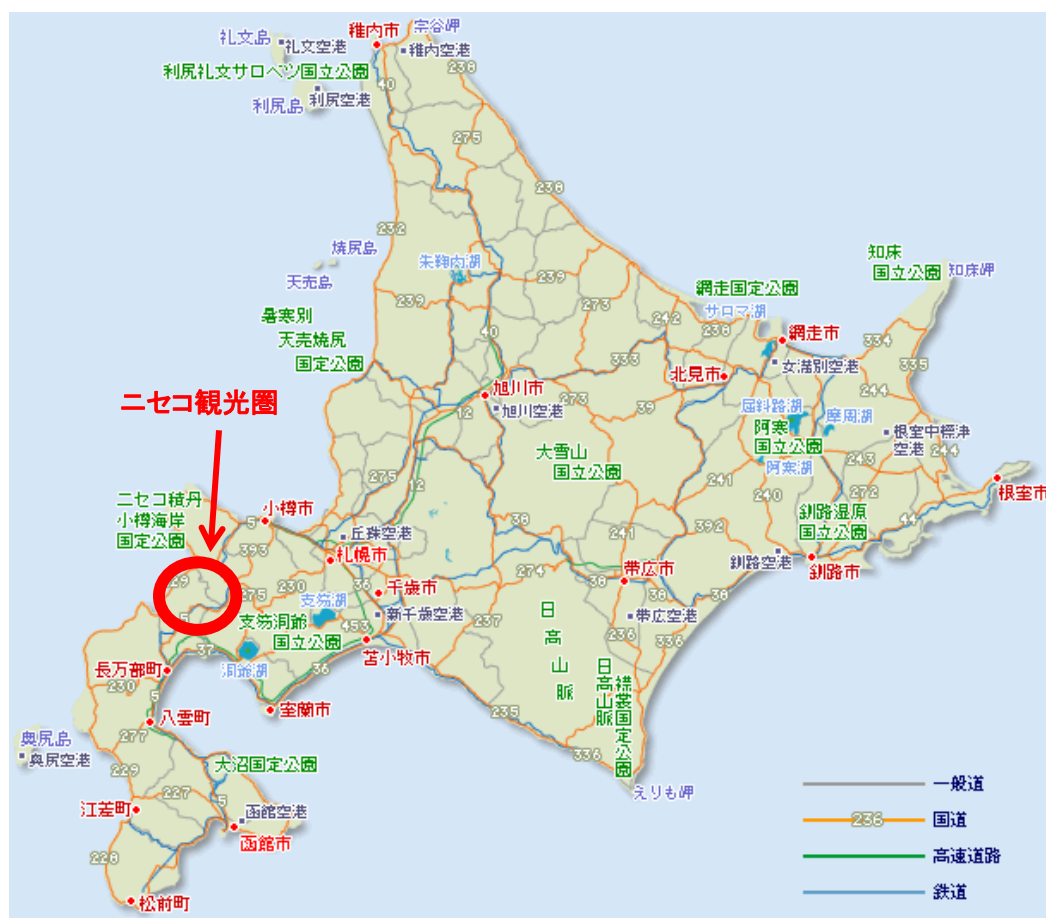
(4) 倶知安町町道南3線無電柱化事業<アンヌプリ山麓地区>

4-1

事業名	町道南3線無電柱化事業
実施主体	倶知安町
実施期間	平成31年度
事業概要	ニセコ HANAZONO リゾート近隣の倶知安町町道南2線の無電柱化により、地域景観の良化や防災機能強化を図る。
事業費	未定

6 参考資料

(1) ニセコ観光圏への国内アクセス



■ 国内主要空港から新千歳空港までの飛行時間

仙 台 空 港	1 時 間 10 分	成 田 国 際 空 港	1 時 間 40 分
羽 田 空 港	1 時 間 30 分	茨 城 空 港	1 時 間 25 分
中 部 国 際 空 港	1 時 間 40 分	関 西 国 際 空 港	1 時 間 50 分
広 島 空 港	1 時 間 55 分	福 岡 空 港	2 時 間 10 分

■ 新千歳空港からニセコ観光圏への所要時間

J R	新千歳空港 → 小樽 → 倶知安 (快速エアポート使用)	2 時 間 23 分 ～ 2 時 間 46 分
自 家 用 車	一般道 (R276 号・美笛峠経由) を使用	約 2 時 間 30 分
	高速道路 (札幌・余市経由) を使用	約 2 時 間 30 分
スキーバス	一般道 (R276 号・美笛峠経由) を使用 冬期間 (12 月～3 月) のみ運行	約 3 時 間 30 分

(2) ニセコ観光圏への海外アクセス（アジア圏・オーストラリア・ロシア・グアム）

●新千歳空港発着便〔 〕は共同運航便

■上海（中国）	〔日本航空〕・中国東方航空・上海吉祥航空
■北京（中国）	〔全日本空輸〕・中国国際空港
■台北（中国）	〔全日本空輸〕・エバー航空・チャイナエアライン・スクート・ピーチ
■香港（中国）	〔日本航空〕・香港空港・キャセイパシフィック航空
■大連（中国）	天津航空
■ソウル（韓国）	〔日本航空〕・大韓航空・ジンエアー航空・ティーウェイ航空 他
■釜山（韓国）	大韓航空・エアプサン
■ハワイ（米国）	ハワイアン航空
■グアム（米国）	〔全日本空輸〕・ユナイテッド航空
■バンコク（タイ）	タイ国際航空
■マニラ（フィリピン）	フィリピン航空
■シンガポール	スクート
■マレーシア	エアアジア・Xバード
■ユジノサハリンスク（ロシア）	オーロラ航空

●オーストラリアから（成田空港経由）〔 〕は共同運航便

■ケアンズ・シドニー	ジェットスター航空・〔カンタス航空〕
■ブリスベン・ゴールドコースト	ジェットスター航空・〔カンタス航空〕



(3) ニセコ観光圏の観光資源

◎自然観光資源と景観

ニセコ観光圏は、支笏洞爺国立公園、ニセコ積丹小樽海岸国定公園に隣接また属し、その自然景観の多様さは国内屈指ともいえる。日本百名山に選定されている“えぞ富士・羊蹄山”と『パウダースノーの聖地』ニセコ連峰をはじめとした山系、“清流・日本一”の尻別川をはじめ多くの湖沼とそれら自然が四季折々に変化する景観はニセコ観光圏の宝であり、国内旅行客や外国人観光客を魅了する“世界ブランド・ニセコ”を作り上げる基礎的な資質となっている。

資 源 と 分 野	観 光 資 源	観 光 圏 の 区 域
山岳・高原	羊蹄山	ニセコ町・倶知安町
	ニセコアンヌプリ	ニセコ町・倶知安町
	チセヌプリ	蘭越町
	イワオヌプリ	蘭越町・倶知安町
	ワイスホルン	倶知安町
	ニトヌプリ	蘭越町・倶知安町
	モイワ山	蘭越町・ニセコ町
	目国内岳	蘭越町
	白樺山	蘭越町
	シャクナゲ岳	蘭越町
	高原の景観（パノラマライン）	蘭越町・ニセコ町
河川湖沼	尻別川	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
	昆布川	蘭越町
	ペンケ目国内川	蘭越町
	パンケ目国内川	蘭越町
	ニセコアンベツ川	蘭越町・ニセコ町
	半月湖	倶知安町
	鏡沼	倶知安町
	シャクナゲ沼	蘭越町
	三角沼	蘭越町
	コックリ湖	蘭越町
	パンケ沼	蘭越町
	大湯沼	蘭越町

資 源 と 分 野	観 光 資 源	観 光 圏 の 区 域
森林・自然公園・花畑	昆布温泉公園	蘭越町
	よしくに自然公園	蘭越町
	曽我森林公園	ニセコ町
	桜ヶ丘公園	ニセコ町
	五色温泉郷お花畑	ニセコ町
	東山花の丘	ニセコ町
	百年の森公園	倶知安町
	旭ヶ丘公園	倶知安町
	半月湖畔自然公園	倶知安町
	芝桜	倶知安町
	羊蹄山とじゃがいもの花	ニセコ町・倶知安町
	田園風景	蘭越町
	おいしい水（ニセコ甘露水）	ニセコ町
	羊蹄山の湧水（名水百選）	倶知安町

◎アクティビティ

今や世界的に有名になった“ニセコのパウダースノー”。しかし、ニセコを世界ブランドにしたのは、スキー・スノーボード以外にも充実した通年型のアクティビティメニューにある。尻別川でのラフティングやフィッシング、羊蹄山やニセコ山系の雄大な自然に抱かれる登山、トレッキングにキャンプ。観光客が何度も何度も足を運びたくなる“遊び”がニセコ観光圏には溢れている。また、これらのアクティビティの創造や提供が、多様な民間事業者によって自律的に取り組まれているのも本地域の特徴であり、観光客を惹き付ける魅力だけでなく地域活力の創造にも繋がっている。

資 源 と 分 野	観 光 資 源	観 光 圏 の 区 域
スキー・スノーボード	ニセコマウンテンリゾートグラン・ヒラフ	倶知安町
	ニセコ HANAZONO リゾート	倶知安町
	ニセコビレッジスキーリゾート	ニセコ町
	ニセコアンヌプリ国際スキー場	ニセコ町
	ニセコモイワスキーリゾート	ニセコ町
	チセヌプリスキー場	蘭越町
ラフティング・カヌー・カヤック	尻別川	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
ハイキング	ニセコ沼めぐりコース	蘭越町・ニセコ町
	山村広場	蘭越町
	ニセコフットパスコース	ニセコ町
	尻別川リバーパーク	倶知安町

	倶知安ハイキングコース	倶知安町
フィッシング・釣り堀	尻別川	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
	クトサン川	倶知安町
	昆布川	蘭越町
	パンケ目国内川	蘭越町
	ペンケ目国内川	蘭越町
	釣り堀	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
登山	目国内岳	蘭越町
	白樺山	蘭越町
	シャクナゲ岳	蘭越町
	昆布岳	蘭越町
	チセヌプリ	蘭越町
	イワオヌプリ	蘭越町・倶知安町
	ニトヌプリ	蘭越町・倶知安町
	モイワ山	蘭越町・ニセコ町
	羊蹄山	ニセコ町・倶知安町
	ニセコアンヌプリ	ニセコ町・倶知安町
	ワイスホルン	倶知安町
沼めぐり	コックリ湖	蘭越町
	シャクナゲ沼	蘭越町
	三角沼	蘭越町
	半月湖	倶知安町
	鏡沼	倶知安町
ゴルフ	ニセコゴルフ&リゾート	蘭越町
	ニセコゴルフコース	ニセコ町
	ニセコビレッジゴルフコース	ニセコ町・倶知安町
	HANAZONO GOLF	倶知安町
キャンプ	リンリン公園キャンプ場	蘭越町
	ニセコサヒナキャンプ場	蘭越町
	湯本温泉野営場	蘭越町
	ニセコ野営場	ニセコ町
	ニセコ風の谷キャンプ場	ニセコ町
	旭ヶ丘公園キャンプ場	倶知安町
	半月湖野営場	倶知安町

◎温泉

ニセコ観光圏の圏域が観光地として古くから観光客に親しまれてきたのは、“スキーと温泉”というベストマッチングされた観光コンテンツであった。『東洋のサンモリッツ』という称号も秩父宮が北海道視察の際に圏域でスキーと温泉を楽しんだ新聞記事の見出しに端を発している。

ニセコ観光圏の温泉の特徴は、各施設が独自に泉源を有するという、その泉質の豊かさにある。主な種類は塩化物泉、炭酸水素塩泉、硫酸塩泉、アルカリ性温泉、硫黄泉、単純温泉、酸性泉があり、これらは、その効能等から老若男女を問わず観光客の心身を癒している。

さらに、豊かな自然に抱かれた温泉は、本州の歴史的な温泉郷とは異なった風情を醸しだし、日本人のみならず、外国人観光客にとっても魅力ある観光資源となっている。

資 源 と 分 野	観 光 資 源	観 光 圏 の 区 域
温泉	ニセコ湯本温泉	蘭越町
	新見温泉	蘭越町
	昆布川温泉	蘭越町
	黄金温泉	蘭越町
	湯の里温泉	蘭越町
	ニセコ五色温泉	蘭越町・ニセコ町
	ニセコ東山温泉	ニセコ町
	ニセコ駅前温泉	ニセコ町
	ニセコ昆布温泉	蘭越町・ニセコ町
	アンヌプリ温泉	ニセコ町
	花園温泉	倶知安町
	倶知安温泉	倶知安町
	ひらふ温泉	倶知安町

◎観光・物産品情報施設

ニセコ観光圏のスキー場は複数の事業者に分れているが、以前より NISEKO UNITED として連携し、統一的、集中的な情報発信が行われている。また、現地においては、各区域に道の駅、観光情報案内所が設置され、観光客への情報案内を行っている他、物産品の販売拠点ともなっている。各施設には、外国語対応が可能なスタッフが常駐し、国際化への対応が進められている。

資 源 と 分 野	観 光 資 源	観 光 圏 の 区 域
道の駅	ニセコビュープラザ	ニセコ町
	らんこし・ふるさとの丘	蘭越町
	シェルプラザ・港	蘭越町
観光情報施設	観光案内センター街の茶屋	蘭越町
	らんこしニセコエリア情報センター	
	J Rニセコ駅内観光案内所	ニセコ町

	道の駅ニセコビュープラザ	ニセコ町
	ニセコリゾート観光協会事務所	ニセコ町
	まちの駅・ぷらっと	倶知安町
	J R 倶知安駅内観光案内所	倶知安町
	サンスポーツランド観光案内所	倶知安町
	ひらふ観光案内所 (冬期間のみ)	倶知安町



◎芸術・文化・歴史資源

ニセコ観光圏の多様な自然資源は、アクティビティだけではなくニセコならではの芸術・文化を育み、歴史を築いてきた。現在でも、本地域はニセコに魅せられた多くの新鋭アーティストの活動拠点となっており、国際化の進捗とも関係し新しい観光魅力を創造している。また、ニセコ駅前の倉庫群の再生など開拓の歴史への注目も進んでいる。

資 源 と 分 野	観 光 資 源	観 光 圏 の 区 域
芸術・文化	ニセコ湯の里高原ギャラリー	蘭越町
	パームホール	蘭越町
	有島記念館	ニセコ町
	写真倉庫	ニセコ町
	ラム工房ギャラリー鐵	ニセコ町
	童	ニセコ町
	ギャラリー風山菴	ニセコ町
	小川原脩記念美術館	倶知安町
	大仏寺天井画	倶知安町
	エスティギャラリー	倶知安町
	F A F 工房	倶知安町
	Momiji Gallery	倶知安町
	Kiyoe Gallery Niseko	倶知安町
	Gallery かたち	倶知安町

自然科学	フィッシュ・アンド・名駒	蘭越町
	貝の館	蘭越町
	倶知安風土館	倶知安町
	百年の森公園	倶知安町
歌碑・文学碑	石川啄木歌碑	倶知安町
	林芙美子文学碑	倶知安町
	与謝野晶子歌碑	倶知安町
	松浦武四郎歌碑	倶知安町
	角川源義句碑	倶知安町
	九条武子歌碑	倶知安町
	三条実美歌碑	倶知安町
	カインの末裔碑	ニセコ町



◎体験型観光資源

ニセコは多様なアウトドアアクティビティを主体とした「体験型」の観光地であるが、さらに、農業が観光産業と並ぶ基幹産業ともなっている。北海道ならではの広大な畑で自分が育てたり収穫した野菜を食べる醍醐味、そしてその経験は、国内のみならず、外国人観光客にとっても魅力的な経験となっている。また、ニセコに魅了された新鋭アーティストによるアートクラフト体験のメニューも揃えてきており、観光客の選択肢が広がっている。これらの体験プログラムは農業者やアーティストと観光客との交流を生み、「地域の人とのふれあい」という魅力も創造している。

資 源 と 分 野	観 光 資 源	観 光 圏 の 区 域
農業・酪農体験	米・果物の収穫体験	蘭越町
	野菜の収穫体験	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
	農作業体験	倶知安町
	そばまるごと体験	倶知安町
食べ物づくり体験	生キャラメルづくり	ニセコ町
	ハーブティづくり	ニセコ町
	炭火焼バームクーヘン	ニセコ町
	パンづくり	蘭越町・ニセコ町

	ジャムづくり	蘭越町・ニセコ町
	ネパールカレーづくり	ニセコ町
	ハムづくり	ニセコ町
	ソーセージづくり	ニセコ町・倶知安町
	アイスクリームづくり	ニセコ町・倶知安町
	そば打ち教室	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
	燻製づくり	ニセコ町・倶知安町
	いももち・バター作り	ニセコ町
アート・クラフト体験	ガラスづくり	ニセコ町
	リースづくり	ニセコ町
	トールペイント	ニセコ町
	香油・アロマキャンドルづくり	ニセコ町
	陶芸	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
	クラフト	ニセコ町・倶知安町

◎体育施設・スポーツパーク・MICE施設

ニセコ観光圏は多くの体育・スポーツ施設、各種会議施設があるとともに、その体育施設等を利用したスポーツ合宿、各種大会・研修会の参加者を収容する宿泊施設の両方が、コンパクトにまとまっている地域でもある。こうした集積を活かし、国際的なスポーツイベントをはじめとしたMICE誘致が進められている。

資 源 と 分 野	観 光 資 源	観 光 圏 の 区 域
体育・スポーツ合宿施設	総合運動公園野球場	蘭越町
	山村広場多目的グラウンド	蘭越町
	ニセコ町総合体育館	ニセコ町
	ニセコ運動公園多目的広場	ニセコ町
	ニセコ運動公園野球場	ニセコ町
	ニセコ町陸上競技場	ニセコ町
	総合体育館	倶知安町
	きたろくグラウンド	倶知安町
	旭ヶ丘総合公園グラウンド	倶知安町
	倶知安町中央公園	倶知安町
	サンスポーツランドくっちゃん	倶知安町
	旭ヶ丘スキー場	倶知安町
	尻別川リバーパーク	倶知安町
	白雲荘サッカーグラウンド	倶知安町

	ロッジコロポックルグラウンド	倶知安町
パークゴルフ場	尻別川リバーサイドパークゴルフ場	蘭越町
	総合運動公園パークゴルフ場	蘭越町
	昆布 100 年の森公園パークゴルフ場	蘭越町
	運動公園パークゴルフ場	ニセコ町
	旭ヶ丘パークゴルフ場	倶知安町
プール	蘭越町民プール	蘭越町
	ニセコ町民プール	ニセコ町
	倶知安町営プール	倶知安町
	ホテルニセコアルペン	倶知安町
テニスコート	大谷公園テニスコート	蘭越町
	山村広場テニスコート	蘭越町
	ニセコベアーズテニスコート	蘭越町
	町民テニスコート	ニセコ町
	昆布温泉テニスコート	ニセコ町
	いこいの湯宿いろはテニスコート	ニセコ町
	ニセコビレッジテニスコート	ニセコ町
	ポット共和国中央バスターニスコート	ニセコ町
	ホテル甘露の森テニスコート	ニセコ町
	アンヌプリテニスコート	ニセコ町
	ミルキーハウスグリーンコート	ニセコ町
	ニセコビレッジテニスコート	ニセコ町
	尻別川リバーパークテニスコート	倶知安町
	町民庭球場	倶知安町
	泉郷テニスコート	倶知安町
	サンスポーツランドテニスコート	倶知安町
	ひらふスキー場振興会テニスコート	倶知安町
スポーツパーク	ニセコビレッジ	ニセコ町
	ロッジコロポックルテニスコート	倶知安町
	ペイントボールフィールドニセコ	倶知安町
M I C E 施設	らぶちゃんホール	蘭越町
	ニセコ町民センター	ニセコ町
	倶知安町文化福祉センター	倶知安町
	倶知安町総合体育館	倶知安町

◎サイクルツーリズム（ロードバイク・MTB）

ニセコアンヌプリと羊蹄山を擁し、また、広大な農業地帯の先は尻別川を通じて日本海へ至るという地勢を持ったニセコ観光圏は、長距離を疾走するロードバイクにも、また、自然の起伏に挑むMTB双方のサイクリングに好適な環境であり多くのコースが整備されている。また、自然環境だけでなく、サイクリングのツアーガイド・事業者も複数が活動しており、関連するイベントも開催され、グリーンシーズンの本地域の魅力を構築しつつある。

資 源 と 分 野	観 光 資 源	観 光 圏 の 区 域
ロードバイク	倶知安ポテトコース	倶知安町
	尻別川コース	倶知安町
	ニセコ農道コース	ニセコ町
	JIN ベーカリーコース	ニセコ町 → 圏外
	羊蹄山一周コース	倶知安町・ニセコ町 → 圏外
	五色温泉コース	蘭越町・ニセコ町・倶知安町
	ニセコ洞爺湖コース	ニセコ町 → 圏外
	昆布洞爺湖コース	蘭越町 → 圏外
MTB・フロートレイル	比羅夫コース	倶知安町
	HANAZONO MTB PARK	倶知安町
	尻別川コース	倶知安町
	ニセコウンテンリゾートグラン・ヒラフ	倶知安町
	旭ヶ丘総合公園	倶知安町
	アンヌプリコース	ニセコ町
	東山コース	ニセコ町



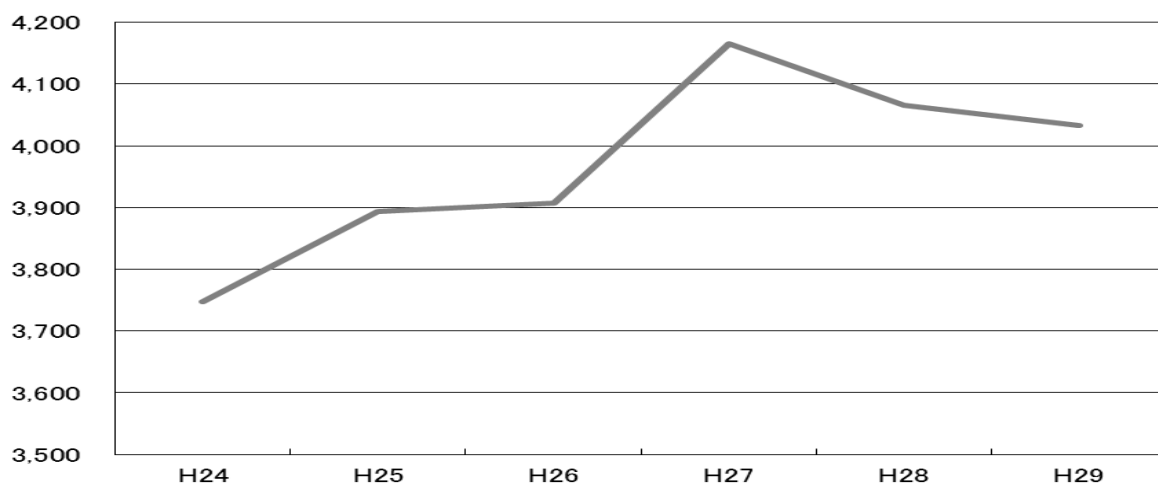
（右図）

リフト乗り場に並ぶ多くの外国人
観光客（H25年2月）

(4) ニセコ観光圏の観光客入込み数

① ニセコ観光圏の国内観光客の入込数 (単位 千人)

	圏域	H24	H25	H26	H27	H28	H29
ニセコ観光圏	蘭越町	854	792	774	850	829	747
	ニセコ町	1,411	1,569	1,593	1,693	1,671	1,672
	倶知安町	1,481	1,533	1,540	1,623	1,565	1,614
	計	3,747	3,894	3,907	4,166	4,065	4,033



② ニセコ観光圏の外国人観光客の宿泊者延数 (単位 人)

	圏域	H24	H25	H26	H27	H28	H29
ニセコ観光圏	蘭越町	131	150	466	721	465	1,021
	ニセコ町	88,298	108,239	148,335	177,012	204,494	218,498
	倶知安町	228,345	273,928	291,986	391,149	354,303	433,685
	計	316,774	382,317	440,787	568,882	559,262	653,204

